

笠岡市都市計画マスタープラン策定完了!

新しいかさおかの土地利用 共生型土地利用って何?

笠岡市が、策定を進めている笠岡市土地利用計画のうち、土地利用やまちづくりの将来像を検討した「笠岡市都市計画マスタープラン」の策定が、平成16年12月に完了しました。

マスタープランでは「『すむ』・『はたらく』・『たのしむ』まち生活元気都市かさおか」を将来像とし、土地利用や都市施設整備などの基本的な方針や、地域別のまちづくり構想などを定めています。

- 環境共生エリア
- 農業共生エリア
- 市街化区域



--- 国道2号バイパス

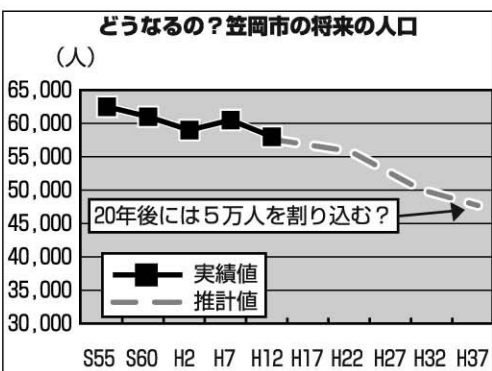
活力に満ちた

新しいまちづくり
共生型土地利用とは?

今回のマスタープランでは、人と自然、都市と農村が共存する笠岡らしさを活かした新しい土地利用形態として「共生型土地利用」を掲げました。
にぎわいのまちづくり

環境共生エリア

笠岡市の人口は、特に島地部や市街化調整区域で減少が著しく、集落の過疎化が進んでいます。このままの状況で推移した場合、二十年后には人口が五万人を割り込む恐れがあります。また、集落では少子高齢化も深刻となっています。



そこで、幹線道路沿道の一部を、都市の利便性と豊かな自然の恵みを共に享受でき、定住指向者の受け皿になる「環境共生エリア」に指定し、周辺環境との調和に配慮した生活サービス施設や低層戸建て住宅などの誘導を図ります。

干拓地の多目的活用

農業共生エリア

笠岡湾干拓地は豊かな農業資源や国道二号バイパスの整備による利便性を活かした多目的活用が求められています。そこで、干拓地の平成町と神島側の二カ所を農業振興と地域活性化のための施設誘導を図る「農業共生エリア」に指定しました。

目標実現へ向けて
プロジェクトチーム
を結成します!

マスタープランで目指す都市像を明らかにしましたが、これを実現するためには新たな土地利用施策が必要となります。笠岡市土地利用調整基本計画等策定委員会報告(平成16年10月)によると、区域区分(線引き)の見直しなど、具体的な方策の検討が必要です。今後、庁内プロジェクトチームを結成し、詳細な検討を進めていきます。

問合せは

都市計画課

☎ 2138 まで

笠岡市土地利用シンポジウム ～ひと・まち・自然 共に生きるまちづくり～

これからの笠岡市の土地利用がどうあるべきか、策定された都市計画マスタープランを通じて、線引きの見直し、干拓地多目的活用などの課題への対応について、市民の皆さんとともに考えるシンポジウムです。(入場無料)
とき... 2月27日(日)13:30～
(受付:13:00～)
ところ... 保健センター
 ギャラクシーホール

内容

○基調講演

演題... 「地域イメージバランスとまちづくり」

講師... 福山大学教授 井上矩之氏

○パネルディスカッション

コーディネーター

福山大学教授 井上矩之氏

パネリスト

川辺屋郵便局長	団迫充世氏
笠岡青年会議所	安田拓人氏
笠岡商工会議所	関藤篤志氏
笠岡市農業委員会	山尾通明氏
干拓土地改良区	河崎勉氏